

一般社団法人日本原子力学会 標準委員会 原子燃料サイクル専門部会
第 48 回 リサイクル燃料貯蔵分科会 (F4SC) 議事録

1. 日時 2019 年 3 月 1 日 (金) 13:30~15:50
2. 場所 東京工業大学 大岡山キャンパス 北 2 号館 6 階会議室
3. 出席者 (順不同, 敬称略)
(出席委員) 木倉 (主査), 白井 (幹事), 松本 (務), 松岡, 大岩, 入江, 影山, 澤, 清水,
松本 (光), 水谷, 亘 (12 名)
(代理出席委員) 檜崎 (佐伯 代理) (1 名)
(欠席委員) 浅見副主査, 小佐古, 山根 (3 名)
(常時参加者) 本田, 樋口, 山後, 工藤 (4 名)
(欠席常時参加者) 福田, 菱田, 広瀬, 堂守, 下条, 石川, 高橋, 蓬田, 村松 (9 名)
(傍聴者) 小菅 (CTC), 伊藤 (神鋼)
4. 配付資料
F4SC48-1 第 47 回リサイクル燃料貯蔵分科会議事録 (案)
F4SC48-2 人事について (専門部会) 【抜粋】
F4SC48-3 リサイクル燃料貯蔵分科会作業会 1 の作業進捗状況報告について
F4SC48-4 貯蔵時の異常事象／事故における金属キャスクへの要求事項／基準の変更
方針案について
F4SC48-5-1 本文 (序文, 1~4 項) 分科会コメント対応表
F4SC48-5-2 「使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準」の修正
前後比較表 (本文 (序文, 1~4 項))
F4SC48-5-3 本文 5 項 分科会コメント対応表
F4SC48-5-4 「使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準」の修正
前後比較表 (本文 5 項)
F4SC48-6 「使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準」の修正
前後比較表 (附属書 B)
F4SC48-7-1 解説 コメント対応表
F4SC48-7-2 「使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準」の修正
前後比較表 (解説)
F4SC48-8-1 附属書 J コメント対応表
F4SC47-8-2 「使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準」の修正
前後比較表 (附属書 J)

F4SC48-9 [本報告] AESJ-SC-F002:2010 使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの
安全設計及び検査基準：2010 の改定について（案）

F4SC48-10 標準記載内容の確認方法（案）

参考資料

F4SC48-参考 1 標準委員会 専門部会運営細則他

5. 議事

幹事より、開始時の出席者の確認が行われ、決議に必要な委員総数の 2 / 3 以上の委員数を満足している旨の報告がなされた。

（1） 前回議事録確認

- 前回議事録（案）として F4SC48-1 の確認が行われ、コメントなく了承された。

（2） 標準委員会等の活動状況について

- 幹事より、F4SC48-2 に基づき、サイクル専門部会の人事について報告がなされた。
- また、前回サイクル専門部会において、転載許諾のロイヤリティの扱いが標準活動基本戦略タスクの中で議論されている旨口頭で紹介がなされた。

（3） 作業会 1 の活動状況について

- 松本（務）委員より、金属キャスク標準の改定作業の進捗状況について、F4SC48-3 に基づき報告がなされた。
- 今回の分科会では、9 回目の技術的審議であり、前回までのコメント回答として「本文」、附属書及び「解説」の審議、並びに中間報告に向けた資料の審議、標準記載内容のチェック方法について確認する。
- 前回コメント回答を審議するため、従来本報告の予定であった本年 5 月のサイクル専門部会への報告を中間報告とし、分科会の審議を 11 回とすることが確認された。

（4） 金属キャスク標準の改定提案

①貯蔵時の異常事象／事故におけるキャスク要求事項の変更方針案について

- 松本委員より、前回分科会でのコメントを踏まえ、F4SC48-4 に基づき、貯蔵時事象に対する要求事項の整理、現行標準からの改定方針案について説明がなされた。
- 本件については、使用済燃料貯蔵施設における事象の扱いについて、（発電所内）兼用キャスクの基準見直しとともに、現在、規制側で議論・整理がなされているところ

でもあり、これらの動向を踏まえた要求事項の整理が必要な状況であることから、本日の分科会での審議は保留扱いとすることが確認された。

- なお、上記規制側の議論の経緯をまとめ、また、必要に応じ今後の同議論の動向を踏まえ、次回分科会で改めて異常事象／事故時におけるキャスク要求事項の整理案について審議することが確認された。

②本文の改定提案について

- 檜崎作業会 1 委員より、前回までの分科会コメントに対する回答案として、本文（序文、1～4 項）について、F4SC48-5-1～F4SC48-5-2 に基づき説明がなされ、上記①に関連する箇所は、同様に保留扱いとし、それ以外の改定点については審議の結果、了承された。
- また、影山委員より、前回までの分科会コメントに対する回答案として、本文（5 項）について、F4SC48-5-3～F4SC48-5-4 に基づき説明がなされ、コメント無く了承された。

③附属書 B の改定提案について

- F4SC48-6 の「附属書 B（参考）金属キャスクによる中間貯蔵施設」の改定案については、上記①の議論に関連する箇所につき、保留扱いとすることとした。

④解説の改定提案について

- 松本（務）委員より、「解説」について前回までの分科会コメントに対する回答案の説明が、F4SC48-7-1 及び F4SC48-7-2 に基づきなされ、上記①に関連する箇所は、同様に保留扱いとし、それ以外の改定点について審議がなされた。
- 一般の試験条件相当の落下事象に対する記載内容について、本日の議論をふまえ再検討し、次回分科会で審議することが確認された。

⑤附属書 J の改定提案について

- 檜崎作業会 1 委員より、附属書 J「（参考）金属キャスクの密封設計における使用済燃料の破損の仮定」について、前回までの分科会コメントに対する回答案の説明が、F4SC48-8-1 及び F4SC48-8-2 に基づきなされた。
- 米国におけるキャスク貯蔵中の漏えい燃料発生率の記載内容について、本日の議論をふまえ一部修正することで審議の結果了承された。（修正内容は、今後の通信ベースで確認）

（５）その他

①中間報告について

- 松本（務）委員より， F4SC48-9 に基づき，今回改定についての専門部会向けの間
報告案の説明がなされた。
- サイクル専門部会，標準委員会向けに，改定内容の具体的にポイントをまとめ，記載
を充実化し，次回分科会で再提案することが確認された。

②標準記載内容の確認方法について

- 工藤作業会 1 委員より，標準記載内容のチェック方法について，前回分科会のコメン
トをふまえ，チェックの視点及びスケジュールの変更案について F4SC48-10 に基づ
き説明がなされ，了承された。

③次回分科会予定

- 2019 年 5 月 17 日（金）13:30～ （場所：追而）

以 上